

Digitone Keys

Quick Guide





Digitone Keys

謝辞

Digitone Keys をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。Digitone Keys は、FM 音源に新しい命を吹き込み近代化するという、Elektron のビジョンを実現したものです。FM 音源をクラシックなサブトラクティブシンセシスの信号フローと組み合わせました。耳障りな混沌としたサウンドから、メロウなサウンドスケープまで、1秒以内で変えることができます。他にはないユニークな機器です。

吟味されたパラメーターを備えた複数の FM アルゴリズムから選択できます。強力なフィルターでトーンを形作りましょう。直感的な操作の Elektron シーケンサーと並べると、素晴らしいエフェクトを生み出すことができます。たくさんの実用的なコントロールを備えた、ペロシティ / プレッシャーセンシティブのキーボードを使用して、パフォーマンスを新たな高みに引き上げます。別世界から発せられたかのような、最高に壮大なサウンドを楽しめます。

このクイックガイドでは、本製品の基本的な機能について説明します。詳細情報や総合的な情報については、www.elektron.se からダウンロード可能な Digitone Keys のユーザーマニュアルを参照してください。

デジタル方式のマスターになりましょう!


- Elektron チーム

FCC 適合宣言書

本機器はFCC規則の15項に準拠しています。機器の使用は、以下の2つの条件の対象となります。(1)本機器は、有害な障害を発生させない。(2)本機器は、希望しない動作を発生させる場合のある障害を含む、受信した全ての障害を受け入れなければならない。

注記：本機器はテストにより、クラスBデジタル装置の基準を満たし、FCC規則の15項に準拠することが確認されています。これらの基準は、住宅での設置における有害な障害に対して、適切な保護を規定することを目的としています。本機器は、無線周波数のエネルギーを生成、使用、放射します。指示に従って設置、使用されていない場合、無線通信に有害な障害が発生する場合があります。しかし、特定の設置方法をとれば障害が発生しないという保証はありません。この機器がラジオやテレビの受信に有害な障害を発生させているかどうかは、機器をオフ/オンにして確認できます。もし発生させている場合は、以下の方法のいずれかによって、障害の修正を試すことが推奨されています。

- 受信アンテナの方向あるいは位置を変更します。
- 機器とレシーバーの間の距離を離します。
- 機器を、レシーバーが接続されているものとは異なる電源コンセントに接続します。
- 代理店または経験豊富なラジオ / テレビ技術者に相談します。

 **警告：**がんと生殖機能障害 – www.P65Warnings.ca.gov

Canada

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003.

European Union regulation compliance statement

This product has been tested to comply with the Low Voltage Directive 2014/35/EU and the Electromagnetic Compatibility Directive 2014/30/EU. The product meets the requirements of RoHS 2 Directive 2011/65/EU.



Your product must be disposed of properly according to local laws and regulations.

法的免責事項

本書の情報は予告なしに変更されることがあり、Elektronの責任を約束するものではありません。Elektronは本書の誤りに対していかなる責任も負いません。また、Elektronは、本文書の製品やプログラムの記載の改善または変更を予告なしに行うことがあります。Elektronは、契約、過失、またはその他の行為に関わらず、この情報の使用または実施に伴って生じる、特別な、間接的な、あるいは結果として生じる損害または、使用、データ、または利益の損失から生じる損害に対する責任を負いません。

安全に関する重要な指示

1. 本製品を水のかかる場所で使用しないでください。
2. 画面やケースを、薬品などでクリーニングしないでください。埃や汚れや指紋を除去する際は、柔らかく乾いた滑らかなクロスを使用します。汚れが落ちない場合は、水で布を少しだけ濡らせてから、ふき取ってください。クリーニングを行う前には、全てのケーブルを外してください。製品が完全に乾いてから、ケーブルを再度接続してください。
3. 本体の設置を行う際は、メーカーのマニュアルに従ってください。使用を始める前に、本体を安定した場所に設置する必要があります。
4. 本体の設置場所の近くにあるコンセントに電源アダプターを接続してください。
5. 本体を輸送する場合は、メーカー推奨の付属品を使用するか、本体に同梱されていた箱と緩衝材を使用してください。
6. 本体を、ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ、その他の熱を発生させる機器（アンプを含む）の近くに設置しないでください。
7. 本製品は、アンプ、ヘッドフォン、スピーカーと組み合わせて使用することで、永久的聴力損失の原因となりうる大音量が発生する可能性があります。大音量や不快なレベルの音量で長時間使用しないでください。
8. 電源コードが踏まれたり、プラグ、ソケット、本体の接続部でねじれたりしないようにしてください。
9. メーカー指定の付属品以外は使用しないでください。
10. 雷が発生しているとき、長期間使用しないときには、電源アダプターをコンセントから抜いてください。
11. 修理を行うときは、必ず資格のある修理担当者にご相談ください。本体に液体をこぼしたり、物を落としたりした場合や、本体が雨や霧にさらされたり、正常の動作をしなかったり、落下したりした場合など、機器に何らかの損傷がある際は修理が必要です。

火災、感電、製品破損のリスクを軽減するため、以下の指示に従ってください。

- 本体を雨、霧、水しぶきにさらさないでください。また、花瓶などの液体の入った物を本体の上に置かないでください。
- 本体を直射日光のあたる場所に置いたり、室温が 40℃を超える環境で使用したりしないでください。誤動作につながります。
- 分解しないでください。本体内部にユーザーが自身で修理、調整できる部品はありません。必要な場合は、専門のサービス技術者に修理を依頼してください。
- 電氣的仕様で指定されている制限を超えないようにしてください (Digitone Keys のユーザーマニュアルに記載)。

Elektron の電源アダプター PSU - 3b の安全に関する指示

- アダプターは、屋内用として開発されています。屋外では使用しないでください。
- アダプターの通気性を確保するため、狭い場所には設置しないでください。過熱による感電や火災のリスクを防止するため、カーテンやその他の物体でアダプターの通気を妨げないでください。
- 直射日光にさらしたり、室温が 40℃を超える環境で使用したりしないでください。
- 本体の設置場所の近くにあるコンセントにアダプターを接続してください。
- 電源コードが接続されているときには、アダプターはスタンバイモードになります。電源コードがコンセントに接続されている限り、初期回路は常にアクティブです。電源を完全に遮断する場合は、電源コードをコンセントから抜いてください。
- EU では、CE 認可の電源コードのみを使用してください。

再起動

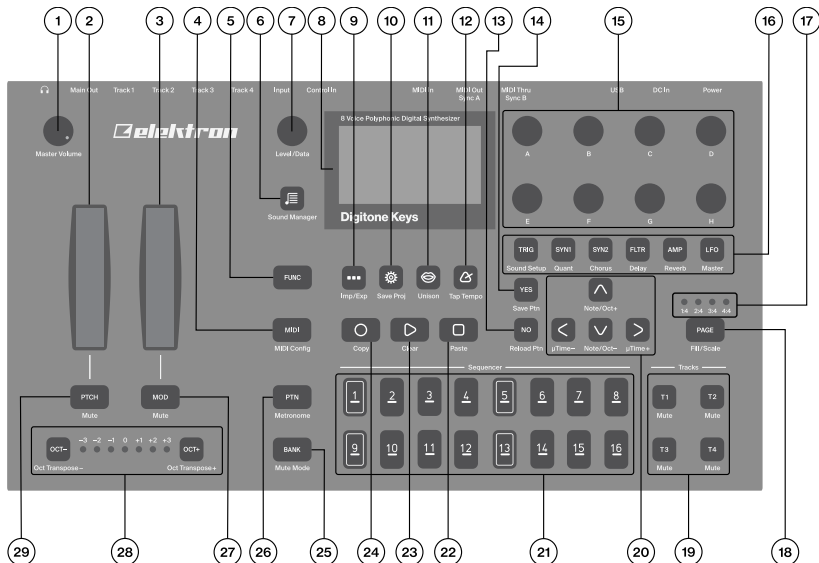
- Digitone Keys を完全に再起動する場合は、電源を切った後 30 秒以上経ってから再度電源を入れてください。

TABLE OF CONTENTS






1. パネルのレイアウトと接続	10
1.1 フロントパネルのコントロール	10
1.2 背面パネルの接続	15
2. Digitone Keys の使用を開始する	17
2.1 設定と起動	17
2.2 サウンドの変更	17
2.3 工場出荷時のパターンの再生	18
2.4 トラックのミュート	18
2.5 TEMPO	18
3. ユーザーインターフェース	19
3.1 パラメーターの編集	20
3.2 [FUNC] キーとの組み合わせ	20
4. シーケンサー	21
4.1 トリガーとトリガータイプ	21
4.2 パターンの録音モード	21
4.3 GRID RECORDING モード	21
4.4 LIVE RECORDING モード	22
4.5 パラメーターロック	22

1. パネルのレイアウトと接続

1.1 フロントパネルのコントロール



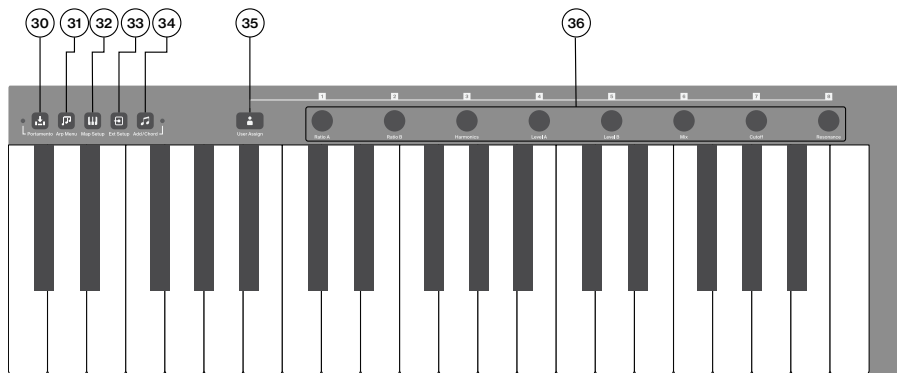
1. **MASTER VOLUME:** メイン出力およびヘッドフォン出力のボリュームを設定します。
2. **PITCH WHEEL:** ピッチベンドおよびその他の割り当て可能なモジュレーションを適用します。
3. **MOD WHEEL:** 割り当て可能なモジュレーションを適用します。






4. **[MIDI]**: MIDI 編集モードになります。MIDIトラックを編集できます。MIDI 編集モードになっている間は **[MIDI]** キーが点灯します。サブ機能として、MIDI CONFIG メニューを表示します。
5. **[FUNC]** キー : **[FUNC]** を押したまま別のキーを押すと、そのキーのサブ機能を使用できます。Digitone Keys のフロントパネルに、キーのサブ機能が青緑色の文字で表示されます。
6. **[SOUND BROWSER]**:  Sound Browser が開き、サウンドのプレビューやロードができます。サブ機能として、Sound Manager を表示します。
7. **LEVEL/DATA**: アクティブなトラック全体のボリュームレベルを設定します。また、パラメーターを設定したり、リストをスクロールしたりすることができます。
8. 画面
9. **[PATTERN MENU]**  : PATTERN メニューが表示され、パターン管理ができます。サブ機能として、Import/Export メニューを表示します。
10. **[GLOBAL SETTINGS]**  : プロジェクトの管理、MIDI 設定、システム設定を行えます。サブ機能として、現在のプロジェクトを保存します。
11. **[VOICE]**  : VOICE メニューが表示されます。トラックへのボイス割り当てを処理できます。サブ機能として、ユニゾンのオン / オフを切り替えます。
12. **[TEMPO]**  : TEMPO メニューが表示されます。グローバル / パターンテンポやスイングの調整を行えます。サブ機能として、テンポをタップできます。
13. **[NO]** キー : アクティブなメニューを終了したり、ステップを1つ戻ったり、却下したりする場合に使用します。サブ機能として、アクティブなパターンを一時的にリロードします。


14. **[YES]** キー：サブメニューを入力、選択、確認する場合に使用します。サブ機能として、アクティブなパターンを一時的に保存します。
15. **DATA ENTRY** ノブ **A ~ H**: パラメーター値の設定に使用します。
16. **[PARAMETER]** キー：アクティブなトラックの PARAMETER ページが表示されます。キーの色は、ページがアクティブ（赤 / 青）か非アクティブ（消灯）かを示します。<PATTERN PAGE> LED で、アクティブなパターンに含まれるパターンページの数と、どのパターンページが現在アクティブになっているかが示されます。現在再生されているパターンページの LED が点滅します。
17. <PATTERN PAGE> LED: アクティブなパターンに含まれるパターンページの数と、どのパターンページが現在アクティブになっているかを示します。現在再生されているパターンページの LED が点滅します。
18. **[PAGE]**: パターンに 16 以上のステップがある場合、アクティブにするパターンページを選択します。<PATTERN PAGE> LED で、アクティブなパターンに含まれるパターンページの数と、どのパターンページが現在アクティブになっているかが示されます。現在再生されているパターンページの LED が点滅します。サブ機能として、SCALE ページを表示します。
19. **[TRACK] [T1 ~ 4]** キー：アクティブなトラックを選択します。サブ機能として、トラックをミュートします。
20. **[ARROW]** キー：移動やパラメーター値の設定に使用します。メニューでは、**[UP]**、**[DOWN]**、**[LEFT]**、**[RIGHT]** と表記されます。
21. **[TRIG]** キー：**DATA ENTRY** ノブと組み合わせて使用し、シーケンサトリガーやパラメーターロックの入力や削除をします。また、**[PTN]** および **[BANK]** キーと組み合わせて使用し、バンクやパターンを選択します。その他、**[TRIG]** キーはキーボードと

して使用して Digitone Keys を演奏したり、シーケンサーにノートを入力することもできます。

22. **[STOP]**: 再生を停止します。サブ機能として、貼り付け操作を行います。
23. **[PLAY]**: シーケンサーの再生を開始します。サブ機能として、クリア操作を行います。
24. **[RECORD]** キー : GRID RECORDING モードの有効と無効を切り替えます。
[RECORD] を押したまま、**[PLAY]** を押すと LIVE RECORDING モードが有効になります。**[RECORD]** を押したまま、**[PLAY]** を 2 回押すとクオンタイズ LIVE RECORDING の有効と無効が切り替わります。サブ機能として、コピー操作を行います。
25. **[BANK]**: **[TRIG 9 ~ 16]** キーと組み合わせて使用し、バンク A ~ H を選択します。サブ機能として、MUTE モードにします。
26. **[PTN]**: **[TRIG 1 ~ 16]** キーと組み合わせて使用し、パターン 1 ~ 16 を選択します。サブ機能として、METRONOME メニューを表示します。
27. **[MOD]** キー : **MOD WHEEL** を適用するパラメーターの割り当てに使用します。サブ機能として、**MOD WHEEL** でかけたモジュレーションをミュートします。
28. **[OCT-/+]**: KEYBOARD 範囲を 1 オクターブ上または下にトランスポーズします。
<OCTAVE> LED で現在のトランスポーズを示します。サブ機能として、シーケンサーの音符を 1 オクターブ上または下にトランスポーズします。
29. **[PTCH]** キー : **PITCH WHEEL** を適用するパラメーターの割り当てに使用します。サブ機能として、**PITCH WHEEL** でかけたモジュレーションをミュートします。

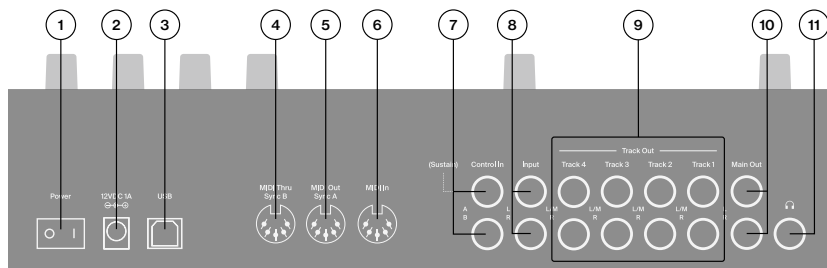


30. **[HOLD]** : ホールド機能のオン / オフを切り替えます。サブ機能として、ポルタメント機能のオン / オフを切り替えます。<PORTAMENTO> LED で、ポルタメントの状態を示します。
31. **[ARPEGGIATOR]**:  アルペジエーターのオン / オフを切り替えます。サブ機能として、ARPEGGIATOR メニューを表示します。
32. **[MULTIMAP]**:  マルチマップ機能のオン / オフを切り替えます。サブ機能として、MULTIMAP メニューを表示します。
33. **[MIDI EXT]**:  MIDI コントローラ機能のオン / オフを切り替えます。サブ機能として、MIDI EXT メニューを表示します。
34. **[TRACK NOTE]** : TRACK NOTE メニューが表示されます。トランスポーズ、スケール、コードなどのノート関連の設定の表示や編集ができます。サブ機能として、コードのオンとオフを切り替えます。<CHORD> LED で、コード機能のオン / オフ状態を示します。

35. **[USER MODE]:**  **CONTROL** ノブのオン / オフでの USER モード機能を切り替えます。サブ機能として、USER MODE メニューを表示します。

36. **CONTROL** ノブ: パラメーターの値の設定に使用します。PARAMETER ページでのパラメーターの制御に割り当てることができます。

1.2 背面パネルの接続



1. **POWER:** 本体の電源のオンとオフを切り替えます。
2. **DC In:** 電源の入力部です。付属の PSU-3b アダプターを電源コンセントに接続します。
3. **USB:** 本体とコンピュータを接続する接続口です。MIDI コントロール、データ転送または Overbridge で使用します。付属の AB USB 2.0 ケーブルを使用してコンピュータのホストに接続します。
4. **MIDI THRU/SYNC B:** MIDI IN からのデータを転送します。また、DIN sync を従来の楽器に送信する構成にもできます。標準の MIDI ケーブルを使用して、他の MIDI 機器にチェーン接続します。

5. **MIDI OUT/SYNC A:** MIDI データを出力します。また、DIN sync を従来の楽器に送信する構成にもできます。標準の MIDI ケーブルを使用して、外部 MIDI 機器の MIDI 入力に接続します。
6. **MIDI IN:** MIDI データを入力します。標準の MIDI ケーブルを使用して、外部 MIDI 機器の MIDI 出力に接続します。
7. **CONTROL IN:** サステイン / エクスプレッションペダル、フットスイッチ、CV 用の入力です。CV 信号用 1/4" モノラルフォンプラグを使用します。
8. **INPUT L/R:** オーディオ入力です。1/4" モノラルフォンプラグ（アンバランスト接続）を使用します。
9. **TRACK OUTPUTS L/M(mono)/R:**トラック 1 ~ 4 のオーディオ出力です。モノラルオーディオをすべて出力する場合は L 出力を使用します。1/4" モノラルフォンプラグ（アンバランスト接続）または 1/4" Tip/Ring/Sleeve フォンプラグ（バランスト接続）のいずれかを使用します。
10. **OUTPUT L/R:** メインオーディオを出力します。1/4" モノラルフォンプラグ（アンバランスト接続）または 1/4" Tip/Ring/Sleeve フォンプラグ（バランスト接続）のいずれかを使用します。
11. **HEADPHONES:** ヘッドフォン用のオーディオを出力します。1/4" Tip/Ring/Sleeve フォンプラグを使用します。

2. Digitone Keys の使用を開始する

2.1 設定と起動

Digitone Keys を、安定した支えの上に置きます。また、ケーブルを配線できるスペースを十分に取ってください。Digitone Keys を他の機器に接続する前に、すべての機器の電源をオフにします。

1. 付属の DC アダプターを電源コンセントに接続し、小さいプラグを Digitone Keys の 12 V DC に接続します。
2. Digitone Keys の OUTPUT L/R をミキサーまたはアンプに接続します。
3. Digitone Keys をコンピュータで制御する場合、USB ケーブルでコンピュータと Digitone Keys の USB コネクタを接続します。
4. MIDI を使用して Digitone Keys を制御する場合は、コントローラーとして使用するデバイスの MIDI OUT ポートから Digitone Keys の MIDI IN ポートに接続します。Digitone Keys を使用して、MIDI を使用して他のデバイスを制御する場合は、Digitone Keys の MIDI OUT ポートから制御するデバイスの MIDI IN ポートに接続します。
5. 外部ソースからのオーディオを処理する場合は、オーディオソースを INPUT L/R または USB 経由で接続します。
6. すべてのユニットの電源を入れます。POWER スイッチをオンにすると Digitone Keys の電源がオンになります。

2.2 サウンドの変更

サウンドをプレビューするには、**[SOUND BROWSER]** を押して **LEVEL/DATA** ノブを使用します。**LEVEL/DATA** を押すと、サウンドがアクティブなトラックにロードされます。

2.3 工場出荷時のパターンの再生

Digitone Keys には、いくつかのプリセットパターンやサウンドがあります。次の手順で、本機のパターンを再生することができます。

1. **[BANK]** を押してから **[TRIG 9]** キーを押してバンク A を選択します。画面に “BANK A :SELECT PTN” と表示されます。
2. **[TRIG 1]** キーを押して、バンク A の最初のパターンを選択します。
3. **[PLAY]** を押すと、パターン A01 が再生されます。
4. **[PTN]** を押してから **[TRIG 2]** キーを押すとパターン A02 が選択されます。以降も同様です。前のパターンが終了すると新しいパターンが開始されます。

データを含むパターンがある場所は **[TRIG]** キーが白色に点灯します。現在アクティブなパターンがある場所は **[TRIG]** キーが赤色に点灯します。空のパターンがある場所は **[TRIG]** キーが消灯します。

2.4 トラックのミュート

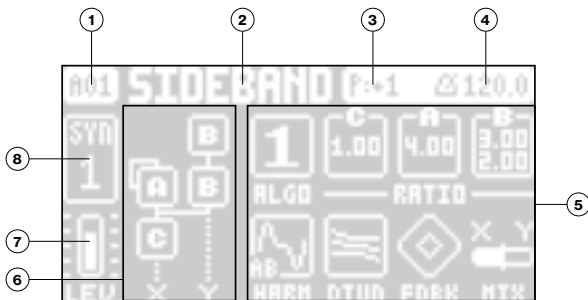
シーケンサートラックのいずれかをミュート / ミュート解除できます。また、すべてのトラックを同時にミュート / ミュート解除できます。トラックをミュートするには **[FUNC] + [T1 ~ T4]** を押します。ミュートされているトラックのミュートを解除するには **[FUNC] + [T1 ~ T4]** を押します。

2.5 TEMPO

BPM 設定を変更するには、**[TEMPO]** キーを押して TEMPO メニューを表示します。**LEVEL/DATA** ノブでテンポを変更します。

3. ユーザーインターフェース

画面には、Digitone Keys のリアルタイムの操作や編集に必要なすべての情報が表示されます。8つの **DATA ENTRY** ノブのパラメーター表示は、選択したパラメーターページによって異なります。これは SYN1 ページのメインインターフェース画面です。



1. バンクとパターン。
2. パターン名。
3. パターン / トラックのトランスポーズ。
4. テンポ。
5. 8つのトラックパラメーター。 **DATA ENTRY** ノブで制御されるパラメーターと、現在のパラメーター値が表示されます。
6. FM アルゴリズム (SYN1 および SYN2 ページで表示)。
7. トラックのボリュームレベル。 **LEVEL/DATA** ノブでレベルを変更します。
8. トラック番号とトラックのタイプ。シンセ (SYN) トラックまたは MIDI (MID) トラックです。

3.1 パラメーターの編集

トラックパラメーターの値を変更するには **DATA ENTRY** ノブを使用します。画面のパラメーターの位置は、フロントパネルのノブの物理的な位置に対応しています。

- **DATA ENTRY** ノブを押しながら回すと、パラメーターの変化幅が大きくなります。この機能を使うと、パラメーターの全体範囲を素早く移動することができます。
- パラメーターをデフォルト値にリセットするには **DATA ENTRY** ノブと **[NO]** を押します。
- パラメーターの正確な値を確認するには **[PARAMETER]** キーを押したままにします。

3.2 [FUNC] キーとの組み合わせ

[FUNC] キーを他のキーと一緒に押して使用する場合は通常、**[FUNC]** を押したまま、組み合わせるキーを押します。

4. シーケンサー

シーケンサーは、パターンにその情報を格納します。シーケンサーパターンでは、シーケンサーに入力したトリガーでシンセトラックや MIDI トラックの再生を制御します。

4.1 トリガーとトリガータイプ

トリガーとは、Digitone Keys のシーケンサーでアクションを実行したい場所に配置するシーケンサーイベントです。録音モードの両方で使用できるトリガーには、ノートトリガーとロックトリガーの 2 種類があります。

- **ノートトリガー** : シンセトラックおよび MIDI トラックのノートをトリガーします。
- **ロックトリガー** : パラメーターロックをトリガーします。ノートはトリガーしません。

4.2 パターンの録音モード

Digitone Keys では、パターン作成用として 2 種類のトリガー入力モードが用意されています。GRID RECORDING モードと LIVE RECORDING モードです。新しくパターンを作成する場合、最初に、バンクのいずれかの空のパターンスロットを選択します。

4.3 GRID RECORDING モード

GRID RECORDING は、キーボードと **[TRIG]** キーを使用してパターングリッドにトリガーを追加する作曲方法です。

1. **[TRACK 1 ~ 4]** を押してトラックを選択し、**[RECORD]** を押すと GRID RECORDING モードになります。GRID RECORDING モードが有効の際は **[RECORD]** キーが点灯します。
2. シーケンサーでノートトリガーを配置するには、**[TRIG]** キーを使用します。特定の音価とコードでノートトリガーを追加するには、**[TRIG]** + キーボードを使用します。ロックトリガーを追加するには、**[FUNCTION]** + **[TRIG]** を押します。ノートトリガーが含まれているかどうかにかかわらず、任意のシーケンサーステップにロックトリガーを配置できます。配置済みのトリガーを削除するには、もう一度 **[TRIG]** キーを押します。
3. 別のトラックを選択して、ノートトリガーやロックトリガーを追加します。
4. **[PLAY]** を押すと、シーケンスが再生されます。

4.4 LIVE RECORDING モード

LIVE RECORDING モードは、トラックにトリガーを追加するもう 1 つの方法です。この録音モードでは、キーボードと **[TRIG]** キーをリアルタイムで演奏して、トラックにトリガーを入力します。また、**DATA ENTRY** ノブを回すと、パラメーターロックのあるロックトリガーを入力できます。

1. **[RECORD]** を押したまま **[PLAY]** を押すと、LIVE RECORDING モードが有効になります。**[RECORD]** キーを押したまま **[PLAY]** を 2 回素早く押すと、LIVE RECORDING のクオンタイズの有効と無効を切り替えられます。シーケンサーの再生が開始され、**[RECORD]** キーが赤色に点滅を始めます。
2. キーボードまたは **[TRIG]** キーを押して **DATA ENTRY** ノブを回すと、リアルタイムでトリガーを入力できます。ノートトリガーのピッチ値を指定するには、**[TRIG]** キーを押します。
3. シーケンサーの再生中に LIVE RECORDING モードを終了するには、**[PLAY]** を押します。LIVE RECORDING モードになっている時に **[RECORD]** を押すと、GRID RECORDING モードが有効になります。

4.5 パラメーターロック

パラメーターロックを使用して、すべてのシーケンサートリガーに一意のパラメーター値を割り当てられます。たとえば、シンセトラックのノートトリガーに異なるピッチ、ベロシティ、長さを設定することができます。PARAMETER ページにあるすべてのパラメーターをロックできます。また、パラメーターロックはシンセトラックでも MIDI トラックでも適用できます。

まず、GRID RECORDING モードでノートまたはロックトリガーを追加します。トリガーの **[TRIG]** キーを押したまま、**DATA ENTRY** ノブを使用して、パラメーターロックを追加するパラメーターを調整します。ロックしたパラメーターの画面のグラフィックが反転し、ロックされたパラメーター値が表示されます。ロックしたトリガーの **[TRIG]** キーが点滅を始め、トリガーにパラメーターロックがあることを示します。

LIVE RECORDING モードで **DATA ENTRY** ノブを回すか、**[TRIG]** キーを弾くと、アクティブなトラックにパラメーターロックが追加されます。ノートトリガーが配置され、パラメーターロックがこれに適用されます。また、まだトリガーが配置されていないシーケンサーステップにも、パラメーターロックが含まれているロックトリガーが配置されます。

Elektron 3年間保証

Elektron 機器には、元の購入日から3年間の限定保証が付属します。保証を受けるには、元の購入日を証明できる、請求書や領収書が必要です。保証期間中に製品の修理が必要な場合、部品や作業に対する料金はかかりません。保証期間中に Elektron マシンを他の所有者に転売する場合、この保証も譲渡することができます。Elektron Style シリーズの製品（Tシャツ、ステッカー、ポスターなど）はこの保証の対象外です。

(a) 事故、過失、誤用、濫用、不適切な設置または操作、または本製品のクイックガイドマニュアルまたはユーザーマニュアルの指示に従わない場合、および製品出荷時（苦情は運送会社に問い合わせてください）、および Elektron または認定された Elektron 修理センター以外の者による修理または修理を試みた場合により発生した損害、劣化または故障の場合 (b) 改造された機器やシリアルナンバーが汚れている、変更されている、消されている場合 (c) 通常の摩耗および定期メンテナンスの場合 (d) 汗、腐食性雰囲気または極度の温度や湿度などその他の外部要因による劣化の場合 (e) 電源サージまたは関連する電氣的異常、雷による損害または不可抗力による損害の場合 (f) 不適切な接地または認可 / 非認可に関わらず不適切な装置の使用により生じる RFI/EMI（干渉 / ノイズ）の場合は、この保証の対象外です。

小売業者から購入した製品の保証サービスの手順

保証サービスが必要な場合は、サポートにお問い合わせください。保証を受ける方法についてご説明いたします。Elektron 3年間限定保証は、購入店で提供する保証に上乘せられます。

Elektron オンラインショップから購入した製品の保証サービスの受け方

保証サービスを受ける必要がある場合は、www.elektron.co.jp から Elektron サポートにお問い合わせください。Elektron の合意がない限り、認定 Elektron 修理センターに機器を送付しないでください。保証サービスを受けるために、機器を認定 Elektron 修理セン

ターに送付する必要がある場合は、送料はお客様の負担となります。保証期間内のお客様への機器の返送にかかる送料は Elektron が負担します。機器の購入時に故障していた場合、または元の購入日の 2 週間以内にハードウェアが故障した場合は、Elektron が認定 Elektron 修理センターへの機器の送料を負担します。



2215JPN-A